



# 豊玉二中だより

令和6年度 第3号

発行日 6月3日(月)

練馬区立豊玉第二中学校

校長 大野 雄一郎

## 運動会が終わって、さあ定期考査の準備を!

校長 大野 雄一郎

運動会が無事に終わりました。当日は天気にも恵まれ、多くの保護者や来賓、地域の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。生徒たちは、大変励みになったことと思います。これからも、土曜授業や行事にお越しいただき、本校をあたたく見守っていただければ幸いです。

さて、競技では入場行進から整理体操まで、すべての生徒が一生懸命に活動していました。100m走や長距離走などの個人種目では少しでも速く走ることを目指し、大縄や学年種目などの団体種目では全員が協力し合い助け合うといった素晴らしい光景が見られ、大きな拍手をいただきました。午後の部の最初には、小中連携競技の綱引きも行われ、未来の豊二中生が先輩の中学生と一緒に競技をして、少しでも中学校を実感できたのではないのでしょうか。

今回の運動会も例年同様、実行委員会が中心となって生徒中心の運営をしました。練習から本番まで生徒が中心で進めてきました。このことはとても大変なことですが、運動会の主目的である運動の楽しさを味わうだけでなく、連帯感や達成感、成就感を今後の学校生活に生かすこともねらいとしています。中学校の中心は、もちろん授業ですが、授業だけでは得られない行事の大切さにも気付いてほしいと願っています。

そして、運動会が終わった6月は、試験が2週間後に迫っています。およそ2か月間学習した9教科が試験範囲になりますので、計画的に早めに学習を始めることが必要になってきます。特に1年生は、はじめての定期考査で、何から始めてよいか不安な人もいるでしょう。教科によって多少勉強法は異なりますが、本番はテストを受けるわけですから、問題を解くことを繰り返すとよいはずですが、具体的には次のようになります。

- ①問題を解く→②答え合わせをする→③間違えた問題の解説を読んで理解する
- ④ ③の問題にもう1回チャレンジしてみる(また間違えたら再チャレンジをする)

時間に余裕がある人やまだ問題を解くことに自信がない人は、試験範囲の復習(教科書やノートを見直す。要点を書き出すなど)をしたあとに、①から④を繰り返すと効果的です。

運動会も2週間の準備期間を経て、予行をしてから本番に臨みました。その過程では、特に学年種目において、先生や友達から「こうしたほうがいいよ」などのアドバイスがあったと思います。試験も同じで、その準備期間で分からないことがあったら、先生やその教科が得意な友達に質問しましょう。少しでも疑問が解消して、学級・学年全体で試験に向かう雰囲気ができることを期待しています。